

水辺のごみ見つけ！2024（全国水辺のごみ調査）の結果

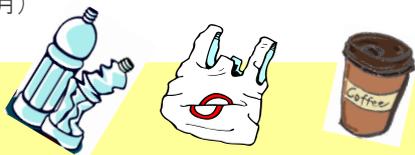
= 概要版 =

水辺にはたくさんのごみが散乱しています。海洋プラスチック汚染の対策のためにも、水辺に散乱するごみの状況を全国規模で把握することは大切であり、本調査は9年目となりました。2024年は、河川管理者と大勢の市民で実施している清掃活動の結果なども増え参加人数が大きく増加しました。

ごみを調査することにより、水辺のごみへ目を向け、何でごみがあるのかを考え、周囲の環境への関心を高めました。

（調査期間：2024年4～11月）

◆調査結果



○ 飲料ペットボトル：**38,323** 本

○ レジ袋：**5,266** 枚

○ カップ型飲料容器：**2,745** 個

[参考]2023年調査件数は、件数 873 件、飲料ペットボトル 35,599 本、レジ袋 8,953 枚、カップ型飲料容器 3,808 個

◆調査状況 ○参加人数 のべ **13,203** 人

○調査件数 **820** 件 *1

○調査範囲計（水辺の長さ） **312.6**km *2

（調査地別内訳）	川	海	湖沼	合計
飲料ペットボトル(本)	35,642	1,814	867	38,323
レジ袋(枚)	4,607	391	268	5,266
カップ型飲料容器(個)	2,527	61	157	2,745
調査件数(件)*1	724	66	30	820
調査範囲(Km)*2	283.56	7.48	21.57	312.61
参加人数(人)	12,487	203	513	13,203

◆減らないペットボトル

2020年はコロナ禍により、調査活動が激減しましたが、それ以降は、毎年、調査件数、調査距離、参加人数ともに増加傾向となっていますが、2024年は若干件数、距離が減少しています。

その年によって調査された個数の増減はありますが、昨年と比較して、レジ袋、カップ型飲料容器の個数は減少傾向がありましたが、飲料ペットボトルの個数だけは増加となっています。

●その他、まちで 14 件、

合計：ペットボトル 166/レジ袋 74/カップ型飲料容器 38

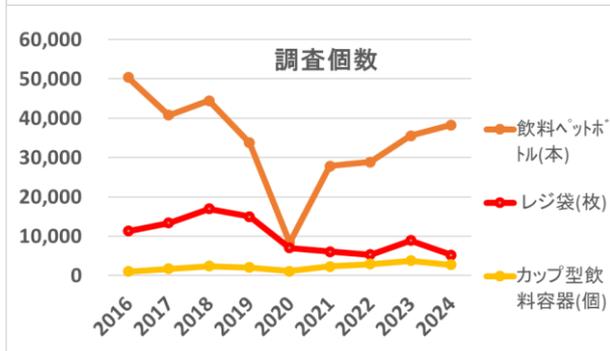
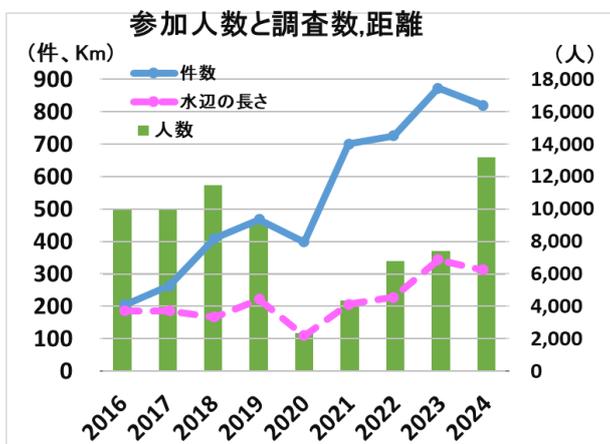
●その他、河川管理者から重さや容積などの参考情報 7 件

●学生による、同時期・同一地域での調査は上記に含まず。

70 件合計：ペットボトル 231/レジ袋 105/カップ型飲料容器 30

*1) 同じ地点でも調査時期が異なる場合は複数件としてカウントしています。

*2) 川の両岸を調査した場合、片側の水辺距離の 2 倍で計算すると調査した水辺の長さは 348.9km になりました。



◆河川管理者の調査協力

国土交通省の河川管理者の調査協力も3年目となり、年々増加しています。市民と一緒に実施した河川清掃、河川管理者による調査など、27都道府県の52水系、計116地点(合計 7,816 人、約 81.5km)の報告がありました。

本調査は、公益財団法人河川財団による河川基金の助成を受けて実施しました。